



# 市民のための市政 大和田市長の施政方針

このため、農業構造改善事業を積

以上の基準方針のほか、昭和四十年度の予算編成に当つては、特に本年度の経済情勢の把握と政策並びに地方財政計画を配慮して、都市近郊農業としての生産性の向上と、技術の革新とともに、農地、林道等の整備により、生産基礎の充実を期して均衡のとれた経済開発を進むこと。

このため、老朽校舎の改築をはじめ

を図ることより、社会教育、公民館活動を通じて市民の教養と文化

を高めてゆく。

このため、農業構造改善事業を積

み、周密な施策を樹立し、これに⑤人材の育成に努めること。

即応した施策を講じ、また常磐地区の市町村合併について、その際に社会福祉の増進を行なうこと。

合併促進協議会において、昭年に編成した第1回市民負担の軽減

十一年中の総額が打出され、大きくさかがるため市民税を標準税率にとどめ、金融対策の強化と商工團

一歩前進、産業構造の整備化につ

いての改善を行なうことを目標とし、これを実現するため、金利の下落による減税額を約五千万円の減税を行

う。企業の診断を通じて、体質の改善

による組織育成によって、これが

この結果、昭和四十年度の一般

予算は、都市開発を行ない、市民

第一回は、健康で明るい市民生活

を営むため、社会福祉の増進を図

ることとして、都市開発を急に整備し、継

めることであります。

このため、市民の集いの場として、

千円の増額(1%、2%)の伸び

万二千円ばかり、前年度の当初予

算に比較すると、一億七千三十六万五

円の増額(1%、2%)の伸び

万二千円ばかり、前年度の当初予

&lt;p



